

渡邊 松男 ワタナベ マツオ WATANABE Matsuo

学部・部署	国際地域学部/University of Niigata Prefecture, Faculty of International Studies and Regional Development	
学科	国際地域学科/Department of International Studies and Regional Development	
職位	教授（国際交流センター長）	
学位・出身大学	Ph.D., Social Sciences and Law (University of Manchester, UK) Master of Public Administration (Columbia University, USA)	
略歴	年 月	職 歴
	1995年5月	Columbia University School of International and Public Affairs Master of Public Affairs Program 修了 奨学金取得 1994-95：Columbia University Teaching Assistant (tuition waiver：授業料免除)
	2001年1月	University of Manchester Faculty of Social Sciences and Law Postgraduate Research Programme 修了 奨学金取得 1997-2000：国際開発機構（FASID）高等教育学位プログラム奨学金（授業料・滞在経費 給付）外務省委託事業
	2001年2月	University of Manchester Institute for Development Policy and Management Research Associate
	2001年11月	日本国際問題研究所 研究員
	2005年4月	ボスニア・ヘルツェゴビナ政府閣僚評議会 経済政策計画庁 経済政策首相アドバイザー（日本国政府より派遣）
	2006年6月	国際協力機構 常勤客員専門員
	2010年4月	新潟県立大学国際地域学部准教授
	2014年8月	大学設置・学校法人審議会の教員組織審査において、新潟県立大学大学院国際地域学研究科 専任教授 「Regional Integration」「Policies and Politics of International Development」「Basic Research Seminar／総合演習」「研究指導」の資格ありと判定（Mマル合）
	2015年4月	新潟県立大学大学院国際地域学研究科・国際地域学部教授、大学院国際地域学研究科専攻主任
2017年4月	新潟県立大学国際交流センター長	

<p>主たる担当科目</p>	<p>(学部) Interactive Studies-Political Economy of International Development, International Development, Seminar in International Development I & II, International Cooperation, 国際開発論, 卒業研究, (大学院) Regional Integration, Policies and Politics of International Development, Basic Research Seminar / 総合演習, 研究指導</p>
<p>研究テーマ</p>	<p><主なテーマ> 国際開発、経済発展、国際協力、開発援助、地域統合、産業振興策、官民連携、Base of the Pyramid (BOP) Business、アフリカ(ケニア、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ボツワナ、ガーナ)、西バルカン(ボスニア・ヘルツェゴビナ)</p> <hr/> <p><主な内容> 国内政治勢力間の対立が改革プロセスに与える負の影響。西バルカンを例にあげると、クロアチアの欧州連合(EU)加盟に伴い、同国の(農産品・食料加工品を含む)安全衛生基準や認証制度がEUの法体系(アキ・コミュニテール)に準拠する。従来クロアチア市場に依存してきた隣国ボスニアの農業部門にとって、このEU基準が非関税障壁となり輸出市場を失ってしまう問題が懸念されてきた。ボスニアに対してEUを含む複数ドナーがこの問題解決への支援を申し出ており、技術的なハードルはない。しかし紛争時の対立関係が未だ根強く反映する国内の政治勢力の間で認証機関の管轄権などが政治的駆け引きのカードになっており、制度整備が停滞している。若年層の失業率が高いボスニアにとって雇用の多くを吸収しうる農業部門の開発は、少なくとも短・中期的には国内の安定、紛争の再発防止という観点からも重要である。現在の研究では、クロアチアの過去の経験(2004年のスロベニアEU加盟時のクロアチアへの影響)を検証しボスニアへの含意を抽出している。</p>
<p>主な研究業績</p>	<p><著書・論文> 「グローバル化する世界経済—グローバル生産ネットワークとフェアトレード」『国際地域学入門』小谷一明・黒田俊郎・水上則子(編) 勉誠出版. 平成28年.(2016年3月) (共著: 李佳). 「西バルカン諸国のEU加盟: 域内貿易と国内改革への含意」『国際地域研究論集』第6号, 65-72頁. 平成27年(2015年3月). 『国際地域学の展開: 国際社会・地域・国家を総合的にとらえる』猪口孝 監修、山本吉宣、黒田俊郎 編著「第4章 経済開発と援助」明石書店. 平成27年(2015年3月). 「ガーナの保健衛生・栄養分野の状況について」『人間の安全保障の課題と日本の外交戦略 — 健康に生まれ、育ち、そして健康に老いる社会づくりに向けて』報告書、外務省平成26年度「外交・安全保障調査研究事業費補助金」日本国際フォーラム. 平成27年.(2015年3月). 『現代の開発経済学: 理論と実証』坂井秀吉、柳原透、朽木昭文 編著「第13章 アフリカの地域統合」「第15章 アフリカ経済の発展—産業多様化と政府の役割」ミネルヴァ書房. 平成26年(2014年5月).</p>

'Issues in Africa' s Industrial Policy', in Noman, A., Botchwey, K., Stein, H. and Stiglitz, J.E. (eds), *Good Growth and Governance in Africa: Rethinking Development Strategies*, New York: Oxford University Press, pp.372-405. (with Hanatani, A.) 平成 24 (2012) 年 3 月

'The Price of EU Membership: Implications of Stabilisation and Association Agreement to Bosnia and Herzegovina's Policy Reform', *Journal of International Studies and Regional Development*, 3, pp. 33-61. 平成 24 (2012) 年 3 月

'A Land-Locked Africa's Growth Strategy: Exports of Knowledge-Based Services' , *Kobe Economic & Business Review*, 54, pp.17-39. (with Hino, H.) 平成 22 (2010) 年 3 月

'Japan's Foreign Aid Policy in Transition: An Interpretation of the TICAD IV' , *Japan aktuell*, German Institute of Global and Area Studies, (3)2008, pp.7-26. 平成 20 (2008) 年 9 月

'Regional Trade In Sub-Saharan Africa: An Analysis of East African Trade Cooperation 1970-2001' , *Manchester School*, 73(2), pp.141-164. (with Kirkpatrick, C. and Richards, G.A.).平成 17 (2005) 年 3 月

'Issues in Regional Integration in East Asia' , *Asia-Pacific Review*, 11(2), pp.1-17. 平成 16 (2004) 年 11 月

'Official Development Assistance as a Catalyst for Foreign Direct Investment and Industrial Agglomeration' , in Kohama, H. (ed), *External Factors for Asian Development, Asian Development Experience*, Vol.1, Singapore: Institute of Southeast Asian Studies, pp.136-168. 平成 15 (2003) 年 2 月

'Regionalism: Sub-Saharan Africa and East Asia Compared' , in Lawrence, P. and Thirtle, C. (eds), *Africa and Asia in Comparative Economic Perspective*, Palgrave Macmillan, pp.103-127. (with Kirkpatrick, C., Richards, G.A.) 平成 12 (2000) 年 12 月

The Effects of Regional Integration in East Africa, University of Manchester. (博士論文) 平成 13 (2001) 年 5 月

「貿易・投資と地域統合」 『エジプトの政治経済改革』山田俊一編、ジェトロ・アジア経済研究所、アジア研選書 13、213-242 頁。平成 20 年 3 月

「エジプトの地域 統合政策と貿易投資」 『アジア経済』49 巻 2 号、2-27 頁。平成 20 年 2 月

	<p>「エジプトの貿易パターンと FTA 戦略」『エジプトの開発 戦略と FTA 政策』山田俊一編、ジェトロ・アジア経済研究所、研究双書 No.542、151-180 頁. 平成 17 年 2 月</p> <p>「EU の紛争分野の支援における活動と役割」、「イギリスの紛争分野の支援における取り組みと活動」『紛争と復興支援』稲田十一編著、有斐閣、113-135 頁、155-172 頁. 平成 16 年 5 月</p>
	<p><講座・講演> 新潟市「にいがた市民大学」2011 年「国際協力・援助の多様な意図：主要ドナー国の外交政策と ODA」、「紛争と復興：ボスニア・ヘルツェゴビナの 16 年の経験から考える」</p>
所属学会	国際開発学会、Economic and Social Research Council-Economic Development Study Group
自由記載	
講座・講演キーワード	政府開発援助（ODA）、アフリカ、ボスニア、アフガニスタン、開発政策、地域統合（FTA）、産業政策、工業化、戦後復興
一言メッセージ	
ホームページ	